



大阪経済記者クラブ会員各位

**「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会  
～東日本大震災を契機に強い供給システムを考える～」の発足について**

**【お問合せ】**

大阪商工会議所 経済産業部（近藤・伊藤）

TEL：06-6944-6304

- 大阪など近畿圏の商工会議所は共同で、「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会～東日本大震災を契機に強い供給システムを考える～」を6月30日に発足させる。本日付で、大阪商工会議所から近畿商工会議所連合会（会長＝佐藤茂雄・大阪商工会議所会頭、近畿2府5県（福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）の71商工会議所で構成）加盟の各会議所に参加を呼び掛ける。
- 今般の東日本大震災は、企業経営に様々な影響を及ぼしているが、その大きな要因のひとつはサプライチェーンの寸断。各国企業の日本製品・部材離れや国内企業の海外流出を食い止め、国力を維持するためには、災害など不測の事態に即応できるサプライチェーンを早期に再構築することが求められる。
- そこで、復興支援基地としての役割が期待される近畿圏において、サプライチェーンの現状や課題などを把握し、必要な支援策を検討するため、標記研究会を設置する。具体的には、企業を対象にしたアンケート調査の実施やセミナーの開催、国の支援策などに関する要望・提言の取りまとめを予定。なお、同研究会は、平成23年6月から12月までに3回程度の開催を見込む。

**<第1回研究会 開催概要>**

【日 時】平成23年6月30日(木) 午後2時～同4時

【場 所】大阪商工会議所 6階 白鳳の間（予定）（大阪府中央区本町橋2-8）

【内 容】1. 本研究会の趣旨説明

2. 講演「東日本大震災を契機に考えるサプライチェーン・リスクマネジメント」  
(仮題)

名古屋工業大学大学院 社会工学専攻 教授 渡辺 研司 氏

3. 意見交換 アンケート調査の実施について

4. その他

【参加者】近畿商工会議所連合会の加盟会議所（本日より参加募集）

\* プレスオープンです。取材いただける場合は、当日会場受付までお越しく下さい。

以上

**<添付資料>**

資料1：「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会」概要

資料2：参加メンバーの募集および第1回研究会 案内状

**サプライチェーン・リスクマネジメント研究会 概要**  
**～東日本大震災を契機に強い供給システムを考える～**

大阪商工会議所

**(1) 趣旨**

- 今般の東日本大震災は、被災地はもとより、日本経済全体に甚大な影響を及ぼしている。大阪商工会議所が震災発生直後に実施したアンケート調査では、4社に3社が「自社に直接・間接の被害・影響が出ている」と回答するなど、近畿の企業が受けるダメージも大きい。他方、東日本における生産機能の低下を代替生産で補うなど、近畿には復興支援基地としての役割が期待されている。
- 企業経営に影響を及ぼす大きな要因のひとつは、サプライチェーンの寸断。仕入先企業の被災などによる、部材・商品の調達難や生産・営業活動の縮小など、従来のサプライチェーンの脆弱さが震災によって浮き彫りになった。
- 供給システムの混乱が長く続けば、各国企業の日本製品・部材離れや国内企業の海外流出が加速するなど、わが国の成長基盤が損なわれかねない。国力を維持し、国際的な信用を取り戻すためには、災害など不測の事態に即応できるサプライチェーンを早期に再構築することが求められる。
- そこで、近畿におけるサプライチェーンの現状や課題などを把握し、必要な支援策を検討するため、標記研究会を設置する。

**(2) 実施時期**

- 平成 23 年 6 月～12 月

**(3) 参加メンバー**

- 近畿商工会議所連合会メンバーのうち、参加を希望する商工会議所。
- 必要に応じて、各会議所の役員・議員会社や自治体、国の出先機関などをオブザーバーとして招く。
- また、必要に応じて専門家の意見を求める。

**(4) 開催場所**

- 大阪商工会議所 会議室

## (5) 内容

### ① 調査の実施

- ・ 不測の事態に対応できるサプライチェーンの構築に関して、企業の現状や課題などを把握するため、メンバー会議所の会員企業を対象にアンケート調査を実施する。
- ・ 完成品メーカーとサプライヤーがそれぞれ抱える課題や、業種別の課題などを詳細に把握するため、必要に応じてヒアリング調査を実施する。

### ② セミナーの開催

- ・ 不測の事態にも対応可能な体制を構築しようとする会員企業への情報提供を目的として、セミナーを開催する。

### ③ 要望の建議

- ・ 調査の結果や研究会での検討内容などを踏まえ、日本を軸にしたサプライチェーンの堅持・再強化に向けた要望を必要に応じて取りまとめ、政府関係機関などに建議する。
- ・ 視点：事業拠点や供給網のデュアル化とコストアップ回避の両立策  
各国企業による日本製品・部材外しの抑止  
日本企業の海外流出抑止  
国内立地の促進 など

## (6) スケジュール（イメージ）

- 5月25日（水）：参加会議所の募集開始
- 6月30日（木）：第1回研究会開催（プレスオープン）
- 7月：アンケート調査の実施
- 7月：第2回研究会開催、アンケート調査結果の公表
- 9月：第3回研究会開催、要望の建議（必要に応じ）
- 10月：セミナーの開催（プレスオープン予定）

※社会・経済情勢を考慮しつつ、上記スケジュールは柔軟に変更する。

以 上

近畿商工会議所連合会 加盟商工会議所 御中

**サプライチェーン・リスクマネジメント研究会～東日本大震災を契機に強い供給システムを考える～  
参加メンバー募集および第1回研究会開催のご案内**

大阪商工会議所

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、近畿商工会議所連合会の助成を受け、「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会～東日本大震災を契機に強い供給システムを考える～」を設置いたします。本研究会では、今般の震災で供給システムの脆弱さが浮き彫りになったことを受け、近畿におけるサプライチェーンの現状や課題などを把握し、必要な支援策を検討いたしたく存じております。

つきましては、同事業の内容（別紙）をご高覧のうえ、メンバー登録に関するご意向をお聞かせください。また、登録をご希望の場合は、下記の通り第1回研究会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。 敬 具

記

## ◆第1回研究会 開催概要◆

日 時：平成23年6月30日(木) 午後2時～同4時

場 所：大阪商工会議所 6階 白鳳の間 (予定)

内 容：1. 本研究会の趣旨説明

2. 講演「東日本大震災を契機に考えるサプライチェーン・リスクマネジメント」(仮題)  
名古屋工業大学大学院 社会工学専攻 教授 渡辺 研司 氏

3. 意見交換 アンケート調査の実施について

4. その他

## &lt;講師ご略歴&gt;

1986年に京都大学農学部をご卒業後、富士銀行にご入行。米国駐在を経て、1997年プライスウォーターハウスクーパーズ(株)に移籍。2003年より長岡技術科学大学准教授をお務めの後、2010年4月名古屋工業大学大学院教授(現職)にご就任。内閣官房情報重要インフラ専門委員会委員・内閣府事業継続計画策定促進に関する検討委員・経済産業省産業ISOセキュリティ統括委員会委員・ISO/技術委員会国際議長としてもご活躍中。

以 上

【本件担当】大阪商工会議所 経済産業部 伊藤・近藤

TEL: 06-6944-6304 FAX: 06-6944-6249 E-mail: ito@osaka.cci.or.jp

大阪商工会議所 経済産業部 伊藤行

FAX 06-6944-6249

## 「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会」 参加回示

会議所名：

ご連絡先TEL：

「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会」に

メンバー登録する

メンバー登録しない



&lt;メンバー登録される場合は、第1回研究会(6月30日)の出欠を御記入ください&gt;

参加者ご芳名	部署・役職名	出 欠
		出席・欠席
		出席・欠席

※3名様以上の場合はお手数をおかけいたしますが、余白にご記入、または本紙をコピーしてご連絡いただければ幸いです。

※ご記入いただいた参加者情報は、本会議所からの各種連絡・情報提供に利用するとともに、講師、参加者には名簿として配布します。